

から聞こえてきたんです。そのとき「矯正するのは限られた期間なんだ。彼女はこの治療期間を楽しんだ。だからさみしい気持ちになつたのだ」と気づきました。それと同時に「私も楽しみたいもつたない。せっかくだからゴムの色を変えよう」と考えたのです。

今は、上の歯はクリアカラーで、下の歯をカラフルにしています。「目立たないこと」と「目立たせること」の両方をアピールしようと思って、こんなにいい装置があり、きれいに魅せられることと、カラーでかわい

自分ならどう対応して
もらいたいかを考えながら、来院する一人ひとりに合わせた話し方
をしている。 Aさん



My 私の矯正体験 Episode

らしく魅せられることを、ひとつの口の中で行っているというわけですね。実際、普通に話しているときは上の歯しか見えないから、矯正に気づかれませんが、でも「イーッ」とすると「あれっ、かわいいね！ それ、何？」と言ってもらえます。すかさず矯正していることを話すと、「そんなのがあるんだね」「それなら私もやりたいな」と。私が矯正を楽しんでいること、ちゃんと伝わっているんですよ。

いい刺激を与えられる ステキな存在に

患者さんとはよくお話をしますね。特に装置をつけてからは、いろいろ相談されるようになりました。歯のことも矯正のことも、何も知らなかった私ですが、今は矯正の患者さんと、同じ立場で話すことができます。陽子先生も矯正相談の方が来ると「受付のお姉さんがつけているから、見て帰ってね」と言うんです。それ

が聞こえると、私も待ち構えて「ほら、やっていますよー」と、「イーッ」として見せます。そうすると、みなさん「わからないですわね」と言っていて安心してくれますね。

矯正を始めて一番うれしかったのは、すきっ歯だった前歯が閉じたときです。矯正するという発想がなかったときも、歯ならばはコンプレックスでしたから。それがなくなりつつあるだけで、すごく自信になりました。

私みたいな人は、世の中にたくさんいると思います。きれいな装置があることや、楽しく矯正できることを知って、やりたいと思う人が増えるなら、いくらでも私を見てほしいですね。最近はこの医院で働いたことも、矯正を始めたことも、運命だったと思ってるんですよ（笑）。

私がイメージする、憧れのお姉さんには、まだ届かないけれど、これから私なりのやり方で患者さんと接していきたいです。

「（こ）で働き、
矯正を始めたことは、
きつと私の
運命だったんです」

理由などありませんよね。先生に「私も矯正したいです」と相談して、あとを追うように始めました。

すぐに慣れて

「つけとこの忘れとった」

私もInVUとエステティックワイヤーをつけています。今はカラーゴムを使っていますが、矯正を始めたときは白いゴムだったので、友達とはほとんど気づきませんでしたね。

最初はやっぱり、ブラケットが口の中で当たっている不快感がありました。それなのに口元の見た目は、いつもと変わらないんですよ。口の中の違和感と見た目の自然さ。おもしろいギャップですよ。

その違和感も初めだけで、すぐに慣れました。治療中の同僚とはしよっちゅう「つけとこの忘れとったね」と話しているんですよ。

だからでしょうか。変化を求めてカラーゴムにしようかとなって。白いゴムの変色を気にして、色がつく食べ物をごまかすくらいなら、カラーのほうがいいですね。これにしたなら、まずは矯正を楽しめるようになりました。「見せて」と言われたら「見て」と、喜んで魅せています。

「もっときれいに！」は
すてきな欲

来院する患者さんも、みなさん調整日を楽しみにしているのがよ

「矯正したことので、
患者さんとお話する機会が増えましたね。これもうれしい効果です」



My
Episode

私の
矯正体験

わかります。先生に「ずいぶん動いたね」とか「大丈夫、よくなっていくよ」と言われるとうれしそう。

装置が外れる頃には、もっともつときれいになりたい！と欲が出てくるようで、トリートメントやホワイトニングを希望する方が多いです。それはつまり、きれいな歯を思いっきり見せたいということ。すてきな欲だと思います。

私も欲が出てきましたよ。せっかくなきれいな歯になるのだから、一生、自分の歯で過ごせるように、いつまでも虫歯のないようにケアしたいって。そう思ったなら歯磨きがとても楽しくなりました。

歯の一本一本をいろいろな角度から磨いて、歯間ブラシやフロスも駆使する。そして、ちゃんと磨けているか、染め出しをします。自分では完璧なつもりだったのに、磨き残しがあれば「あーあ」と。そう言いながらも「次こそは！」と燃えるんですよ（笑）。

単に八重歯を治そうと始めた矯正でしたが、治療が進むにつれて、自分の内面も磨いていこうと、すごく思うようになりました。これもいい欲ですよ。

「矯正ってどう？」と相談されることがあれば、そんな自分の経験をぜひ伝えていきたいです。